

少年連盟だより 第13号

# ののさまといっしょ

発行/新潟教区少年連盟  
〒940-2402 長岡市与板町与板乙 4356 新潟教区教務所内  
TEL 0258-72-2120 FAX0258-72-2536

2015年度  
サマースクール



# 2015年度サマースクール(教区の集い)

平成27年8月10日(月)～11日(火) 本願寺新潟別院にて

「子ども達の声」 子ども達の感想文をそのまま掲載させていただきます



### サマースクール感想文

安達美奈

わたしはウオークラリーがたのしかったです。クイズやたみのかずをかぞえたりしたことが、たのしかったです。  
そして一ばんになったのがうれしかったです。  
バーベキューでは、ウオークラリーで一ばんになったので、マシユマロをもらいました。



### サマースクール

丸山翔空

ぼくが楽しかったのは、二つあります。  
一つ目は、こうさくぐりのパラバンです。ぼくは、クニつくりました。たくさんつくれてたのしかったです。  
二つ目はバーベキューです。パイナップルを食べたりしました。おいしかったです。

### 感想文

岩田未来

私が楽しかったことは、ウオークラリーでけっこうみちにまよったけど、全部できたのでよかったし楽しかった。とくにボールをあてて黄色のいたをたおすのが一番楽しかったです。  
ほかに、バーベキューでバナナをホイル焼きにしたり、そのまま焼いたりして、いがいとバナナがおいしかった。さいしよは、まずそうだったけど、いがいと美味しかった。食べたあとにだるまさんがころんだをして楽しかった。

### サマースクール

岩本蛭社

ぼくが楽しかったことは三つあります。一つ目は、バーベキューです。バーベキューの肉はとってもおいしくて、ごはんもすすみました。  
二つ目は、花火です。花火はとてもきれいで、ある人は水の中に花火を入れて、じょうはつさせていた人もいました。  
三つ目は、ゲームっほうです。作るのとてもむずかしかったけど、うって遊んでとてもおもしろかったです。あと、くもの物語もおもしろかったです。



2日目の日に工作をして、うでおのおねんじゅを作って、青色けいの色が好きなので、その色で作ったらうまくきれいできたし、作るのが楽しかったです。  
とっても楽しいサマースクールでした。くもの糸のえいがの物語もおもしろかったです。



### 第六回少年教化推進者研修会に参加して

三条組 福勝寺 黒田 宙

二〇一五年六月二・三日と本願寺で第六回少年教化推進者研修会が開かれました。子どもと触れ合う中で何を注意するのか、どのように子どもたちと遊ぶのか、もっとたくさん子どもとお寺が関わっていくにはどうしたらよいかを学ぶ場であり、各教区から、キッズサンガに力を入れたい、また子ども会を開きたいという僧侶、門信徒が集まりました。

講師に福岡県レクリエーション協会理事の中島宏氏、サンフレッチエ広島スクールマスターの山出久男氏を招き、中島氏は、子どもと遊ぶにはまず自分が子どもになって遊ぶ事を教えて下さいました。大人が遊びを指示するのではなく、子どもに遊びを考えさせる。自由な発想をもって遊ばせる。そして遊びの中で価値を見出し、信頼関係を作ると話され、また、できない事が楽しいと教え、子どもの自由な発想を促す事が大事であるとも話されました。

山出氏は、大人がルールを決めない事、こちらも遊びの中で頭を柔らかくする事を教えて下さり、ボールを使った様々な遊び、遊びの中で学ぶ事を実演されました。

現代では遊ぶ場が少なくなり、大人たちがあればダメこれはダメと決めつけていくうちに子どもの柔軟な発想を妨げてきたように思います。

そうではなく子どもたちの柔軟な発想を伸ばし、様々なものの見方を養っていく事が大事であり、私もこの研修会で学んだことを活かし、子どもたちと関わっていききたいと思いました。



2015年6月2日(火)～3日(水)、本願寺閻法会館で行われた第6回少年教化推進者研修会の報告です。

### 少年教化推進者研修会

巻組 願正寺 乙山 敬純

今回の研修で中島宏さんに初めてお会いしました。福岡県のレクリエーション協会の理事長を勤められており、いわば遊びのプロで大人の私たちでも気遣うことなく純粋に楽しむことが出来ました。先生はプログラムを作る時に5つのチェックポイントを設け、作成しているそうです。

まずは子どもたちの心を知ること。今の子どもたちは何が好きで、何に関心を持つのか。子どもたちとの距離を縮めるために必須の項目です。

次にひらめきを大切に具現化するアイデアを考える事。最も重要な項目で、自分自身がやりたくなるくらいの遊びを考えなければなりません。その後には計画↓実行↓評価と続きます。

普段、私は子どもたちの心を知ろうとも思わないし、考えようとも思わない。その場その場で子どもに調子を合わせ、ただ一緒に遊ぶ。そうではなく子どもに心身共に寄り添い子どもの立場で物事を見る。こうすることによって初めて子どもの心を知ることができるのではないのでしょうか。子どもの心を知ることによって、子どもが遊んでみたいゲームやレクリエーションが生まれてくるのではないのでしょうか。

ゲームには勝敗が付き物ですが、勝つこと以上に価値がある人間関係の作り方や、その必要性を伝えていきたい、阿弥陀様のお慈悲の中で、子どもたちが自他ともに大切にし認め合える、そんなキッズサンガにしていきたいと、今回の研修を通して感じました。

# 二〇一五年度 教区少年連盟活動報告

## 【教区】

○新潟教区少年連盟総会・夏期巡回会所会議

日時・・・二〇一五年六月八日(月)  
会場・・・本願寺新潟別院「和室」

○教区少年連盟サマースクール

(子ども三十三名・大人二十三名参加)  
日時・・・二〇一五年八月十日(月)～十一日(火)  
会場・・・本願寺新潟別院

○龍谷大学宗教教育部夏期巡回

日時・・・二〇一五年八月十八日(火)～二十四日(月)  
会場・・・教区内七カ寺を巡回

## 【宗派】

○少年教化推進者養成研修会

日時・・・二〇一五年六月二日(火)～三日(水)  
会場・・・本願寺聞法会館

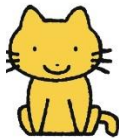
○少年連盟中央研修会

日時・・・二〇一六年三月二十九日(火)～三十一日(木)  
会場・・・本願寺聞法会館・京の宿洛兆

## 【ブロック】

○第1ブロック少年連盟研修連絡協議会

日時・・・二〇一五年六月二十九日(月)～三十日(火)  
会場・・・本願寺長野別院



## 編集後記

新潟教区少年連盟会長 旭 勲

新潟教区少年連盟会報誌「ののさまといっしょ」をお届けいたします。私が教区少年連盟の委員長を務めさせていただき、四期(八年)が経ちました。その期間中に常にめざしたことは、「単位会登録の増加」だったように思います。私が就任する以前からの目標であった「全寺院の三割が登録」することは達成することができましたが、その後は横ばい状態が続き、改めて声掛けの大切さと難しさを感じました。また、毎年度の活動にしても、「例年並み」の活動はできましたが、新しい活動を始めることはできなかったように思います。特に「指導者の育成」について、思うような研修会などが開催できなかったことは、大きな反省となっております。

少年教化活動をすすめていくためには、様々な必要なことがあると思います。指導者となる人、支えるスタッフ、時間、経費等、数え上げたらきりがありません。そしてそれらが全て揃うことを待っていたら、活動を実現することはできないでしょう。「できない理由」はいくらでも作ることができるのです。そうではなく、「できる理由」を探し、自分ができる「何か」を始めていくことが大切だと思います。指導者がいないのならば、教材を用いて行う、時間がないのならば短い時間で行う等、アイデアと工夫次第でさまざまな活動が行なえるはずです。一番大切なことは、一人ひとりが「情熱を持って」取り組むということだと思います。

少年教化活動は、「将来お寺に参る人を育てる活動」ではありません。今の子どもたちに阿彌陀さまの願いを伝え、今の子どもたちのいのちの輝きに目を向ける活動だと私は思っています。

今後とも「寺院の活動で最も大切なことは少年教化である」という情熱を持って、活動を続けていきたいと思っています。